

『人生凸凹』

わがままだった保育園時代

保育園では、先生たちに駄々をこねてた。いま振り返ると申し訳なかったと思う。運動、図工が自分の気分と合わないと逃げてた。（逃げていたのはこういう気分じゃないと感じたから。）逃げても同じクラスの女子に連れ戻されてた。

いじめの対象になっていた低学年時代

小1から支援級に所属した。反りの合わないジャイアンタイプの人が学級にいて、いじめられた。その人には、取り巻きもいた。自分からはいじめられていたことを先生に相談しなかった。相談したら火に油を注ぐと思ってできなかつた。周りの人の名前を覚えられず、自分が思っていることを大人に伝えることが難しかつた。一度ジャイアンタイプのクラスメイトに「その考え方はまちがっている」と言つたら逆ギレされた。

2年生になり、いじめが過激になり暗くなつたと思う。ランドセルをバス停に投げられて、殴られたことがあつた。その時は、児童館から学校へ連絡があり、いったん収まつた。いじめっ子の取り巻きは徐々に引いていった。後から聞いた話では、いじめっ子は、精神が参つていて、自分に八つ当たりされたと思う。

いじめと向き合ってくれる担任との出会いが転機になりチャレンジする自分になった

4年生の時の担任の先生がいじめにちゃんと向き合ってくれて、気持ちを落ち着ける具体的な方法を教えてくれた。おかげさまで、暴力には走らなかつたと思う。ジャイアンタイプのいじめ相手は転校した。

5年生になり、上級生としての行事参加もあり、やらなければいけないことが増え責任を感じた。バドミントンのクラブ活動を頑張つていた。

6年生になつた。学校の文化祭で合奏で木琴を演奏し、大絶賛をうけた。この経験が成功体験になつたと思う。行事など興味があることを実践できることが増え、毎日楽しかつた。

役割をもらい楽しかつた中学校時代

中学は支援級だつた。担任の9割が体育会系で、週4～5回体育があつた。バドミントン、かけっこ、バスケ、サッカー、ソフトボール、バレー、プール、柔道、やつてゐる間に段々楽しくなつた。

月に2～3回、放課後に、図書室で「読書力フェ」があつた。飲みながら本を読める時間だつた。「読書力フェ」に通うようになって本が好きになつた。特に歴史系の漫画の三国志がお気に入りだつた。

美術の先生に絵を褒められた。美術展に応募したら、なんと特別賞に選ばれた。

特別支援級の生徒を集めて、バスケ大会、合奏、劇があつた。（保護者+他校の人がお客様）。劇の本番直前に主役が風邪になり、リハーサルで急に代役に任命された（小道具係で練習を見ていたのでセリフを覚えていた）。うれしかつた。周りからありがとうと言つた。小道具の時に「タイミングを合わせて道具の出し入れが必要だから、役の人たちを見てて」とアドバイスをされたのを覚えている。

合同の劇の先生は、（自分の学校の）演劇部の顧問で、その後部活に誘われた。演劇部に入部して、代役の時にセリフを覚えていたのが印象的だつた。誰かに良い印象を持ってもらえるのはうれしい。劇や人前に出ることが好きだつた。自分でない他人を演じてみたかつた。3学期の劇では主役ができた！ 楽しかつた。高校は塾に行つたり忙しかつたので、午後に残らず演劇部に入れなかつた。大学に入った後？にやってみたい気もする

職業訓練（掃除）では、いろんな掃除器具の使い方を習つた。モップを初めて使つた。小学校の時と比べて楽しかつた。



良くも悪くも最高の青春だった高校時代

高校を選んだ決め手となったのは、自分としては小学校の時に学校を楽しめなかつたので、学生生活が楽しめる学校に行きたいと思ったこと。通学して、就職を目指すわけではなく勉強できる高校が良かった。

自分みたいな（軽度知的障害）人も行けるサポート校があった。丁度いい場所を見つけた。コロナの世の中になってしまったので1年生で行けたのは7月～(ノド)シクリ…

とりあえず授業についていこう！授業は難しかったので塾に行き始めた。高校生活は勉強が中心だった。

2年になり、ある程度学生生活が送れるようになつた。勉強は変わらず難しかつた。一方で、楽しみもあつた。遊園地に行ったバス旅行は、楽しかつた。文化祭は、この時は教室を飾るかたちだつた。写真用のスポットを作るくらいしかできなかつた。2年の文化祭で、自分のクラスはジブリの作品の場面を再現した。

3年になってちゃんと宿泊旅行が出来るようになつた！**初めての飛行機（まあ映画と一緒に）で初めて沖縄に行った！**楽しいの一点張り、ちゅらうみ水族館で、ジンベイザメの餌やりを見たり。マリンスポーツ（シーカヤック、シュノーケル）を初体験した。中でもカヤックが一番だつた。

これからのじぶん

自己管理が出来る人になりたい。

大学は心理学部を選んだ。ポンと決めたわけではないが、他人と関わる仕事をしたくて、カウンセラーになりたいと思った。また、**自分の特性にあった配慮をしてくれる大学を探した。**候補が2つあったが、取れる科目的量が多く、また設備が充実した大学に入学を決めた。

心理士に必ずなれるわけでは無いので、**他の事の知識も獲得しつつ、他の職業もその都度視野に入れていく**みたい。

18年間のモチベーショングラフ



H.Nさん 公立小（支援級）→公立中（支援級）→通信制サポート校→私立大学（心理学部）進学予定

利用時期：小6～高3

参加プログラム：週1日の個別セッション、お仕事体験（一般コース、ユーザーコース）

TEENSで行っていたこと：学校の課題、塾の課題等、ゲーム、オンライン講座でライフスキル、ゲーム大会、

長所：思いやりがある、リラックスできる

過去の自分に一言：甘ったれるな、残り物には福がある

TEENSの後輩に一言：いま自分がやれることをちゃんとやれば、自ずと自分を知ることができる。
